
2018年度 第3回 音環境運営委員会 議事録

記録：石塚、富来

A. 日時 2018年11月16日（金）17:00～19:00

B. 場所 建築学会 304 会議室

C. 出席者 古賀貴士（主査）、池上雅之、石渡智秋、川井敬二、佐久間哲哉、富高隆、富田隆太、羽入敏樹、平光厚雄、山内崇、石塚崇（幹事）、富来礼次（幹事）

欠席者 大嶋拓也、岡野利行、漆戸幸雄、坂本慎一、佐藤洋、田中学、中澤真司、濱田幸雄（敬称略）

D. 提出資料

資料 3-0：2018年度第2回音環境運営委員会議事録（案）.pdf

資料 3-1：20181116_環境工学本委員会（第3回）議題.pdf

資料 3-2：20181116_環境工学本委員会（第3回）資料.pdf

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項：3. (4) 「スピーチプライビシー」→「スピーチプライバシー」
- ・以上を修正して承認

2. 環境工学本委員会報告（資料 3-1, 3-2）

- ・2019年度大会日程について確認
⇒9月3日（火）～6日（金）の4日間へ変更
⇒電子投稿締切：4/4（木）、プログラム編成会議：4/19（金）
- ・小委員会活動成果報告書の提出依頼
⇒学術推進委員会締切：2/15（金）、音環境運営委員会締切：2/8（金）
- ・2019年大賞業績候補として早稲田大学木村建一先生を環境工学より推薦する。
- ・2019年文化賞業績候補（学会員以外の方）は環境工学より推薦なし。
- ・2020年学会賞選考委員会委員（論文部会）候補として工学院大学柳先生を推薦する。
- ・2020年奨励賞選考委員会委員（論文部会）候補として光と空気環境から1名ずつ推薦予定である。
- ・論文集委員会委員の環境工学1名減（歴史1名増）、音環境の日大星先生は留任。
- ・技術報告集委員会委員は広島工大・中西先生が任期満了。神戸大・奥園先生を推薦することとした。
- ・2018年度大会（東北）若手優秀発表賞の審査結果が報告され、承認された。
- ・2019年度大会 OS テーマとして音環境から提案した「c. 集合住宅の音環境向上のための新たなアプローチ」は承認された。
- ・2018年度大会研究協議会北陸支部提案「自然災害と異常気象に向き合う建築環境分野の技術進展」
⇒2日目午後を予定しているが、発表者等が未定のため変更の可能性はある。
- ・若手優秀発表賞 実施要綱について
⇒環境工学委員会で実施要綱が定められており、実施概要で運営委員会毎に審査基準を規定している。運営委員会ごとに審査基準の表現が異なるため、水環境の表記を基準に調整することとなった。
⇒佐久間委員より「環境工学で統一しても良いのでは」との意見に対し、古賀主査より「拘りのある委員会がある可能性もあるので無理に統一しない方向」である旨の説明があった。
⇒音環境は、水環境の「①研究テーマの独創性や学術的・工学的意義など」「②研究方法の独創性、新規性な

ど」「③研究成果の信頼性、妥当性、新規性など」「④プレゼンテーションの明快さと質疑回答の的確性」の最後に「*プレゼンテーションに重きをおく」を入れることとした。

- ・企画刊行委員会刊行準備状況について
 - ⇒羽山企画刊行運営委員会主査より AIJES 作成フローを熟読して欲しい旨の依頼があった。
（「なお、改定のフローにおける、シンポジウムの開催、パブリックコメントの募集、講習会の開催については関連運営委員会と実施の可否を協議し、その内容（理由等）を文書で建築学会環境基準作成小委員会に提出し承認が得られれば省略することができる。」など、手続きをしっかりと把握しておくこと）
 - ⇒AIJES は電子媒体で出すことを基本としていきたい、というのが環境工学委員会の意向である。
- ・運営委員会、小委員会、WG 設置申請書、廃止申請書について報告があった。
- ・環境工学委員会組織図について確認した。
- ・来年度予算についての説明が主査よりあった。
 - ⇒環境工学の研究部門が 9% 予算減となる。
 - ⇒音環境は 4.5 万円減額の予定である。
- ・委員の委嘱・解嘱について
 - ⇒会員外の委員についてはできるだけ会員になってもらうよう働きかけていただきたい。
- ・次期環境工学本委員会委員長選挙について
 - ⇒次回の本委員会で選挙を実施する。
 - ⇒候補者リストに昔の方が入りすぎているので、今後、年限等を設けてリスト掲載人数を減らすことを検討する予定である。
- ・本年度予算執行状況について
 - ⇒音環境運営委員会全体で 80% 消化。使う必要があれば枠を超えても使用可。金額が大きい場合は本部へ事前に連絡をしておくこと。
- ・資料 2-1, 187 頁に学術推進委員会および各委員会からの依頼事項がまとめられていることの報告
- ・次回開催日:2019/3/8

3. 審議事項

(1) 来年度以降の活動について

- ・次期主査について
 - ⇒古賀主査より羽入委員が推薦され、承認された。
 - ⇒2 月頃を目処に幹事、委員名簿を提出する必要がある。詳細は古賀主査より羽入委員へ直接伝達する。
- ・欠席時の代理出席について
 - ⇒古賀主査より小委員会主査が欠席する場合は、情報共有のためにも、極力、運営委員会委員を兼任する委員以外の委員に代理出席をお願いしたいとの意見があった。

(2) 実務的騒音対策指針について

- ・CASBEE の遮音計算において参照元となる書籍『建物の遮音設計資料』が絶版となっていることもあり、これらの後継となる新刊として作成準備を開始したい旨、古賀主査より提案があり、承認された。

4. 各小委員会・WG の活動報告

(1) 固体音小委員会

- ・欠席

(2) 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・11/19に第15回開催。小委員会設置申請書、2019年度委員会活動計画案の最終報告、2019年度大会OSの対応について審議。今期予定している鉄道騒音の測定評価方法に関する聴感実験について、試験音の試聴を行い実験方法を検討。次回1/30予定。

(3) 建築音響測定法小委員会

- ・委員会開催なし。遮音性能A特性評価検討、12/5に中間報告依頼。次回11/26。

4) 室内音響小委員会

- ・委員会開催なし。来期活動計画をメール審議。次回未定。
- ・スピーチプライバシーWG
⇒ AIJES 刊行企画の方へ移行し、発展的廃止
- ・インパルス応答予測・計測WG
⇒ 今期で当初の目標を達成する見込みで廃止届提出しているが、継続検討課題等によりWG設置の可能性あり。
- ・新たなコンテンツ配信等の検討WGについて検討中

(5) 音響数値解析小委員会

- ・委員会開催なし。次期体制および活動計画をメール審議。現体制および活動内容を概ね踏襲することで承認。設置申請書および活動計画書を作成、提出。次回1/11。

(6) 音環境規準検討小委員会

- ・第4回を10/18に開催。
- ・AIJES「スピーチプライバシーの評価規準と設計指針(仮)」の進捗を確認。

欧米では、漏洩と防衛がセットであるが、日本では「妨害感」に対する社会的ニーズが明確でないなどの懸念事項が挙げられた。(現在のタイトルは、(仮)スピーチプライバシーの評価規準と設計指針-音声情報漏洩防止-)

- ・「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」の建築音響測定法小委員会への検討について、建築音響測定法小委員会に本委員会内での中間報告をお願いする。
- ・新たなAIJESとして吸音性能に関する規準の可能性について議論し、室内音響小委員会のWGでの議論をお願いしたい。
- ・次回は12/5を予定。

(7) 企画・広報WG

- ・10/26 2018年度第3回WG開催
- ・「音環境に関する法規制・規格・基準の現状」改定について 3つのSWG(屋外騒音/性能評価/JIS・ISO)の進捗状況を確認
- ・今回新たに追加を予定している「WELL/LEED」について、どのように・どこまで資料の中で表現するかについて詳細検討中。
- ・JIS/ISOについては、9/27に開催されたASJ講習会の内容を参考に、ASTMも含めたまとめ方を検討中。
- ・来年春までにある程度の形にして、AIJ大会への投稿および秋のシンポジウム開催に向け準備を進めている。
- ・次回WG 12/12開催予定

5. 他学会・研究会の予定

(1) 日本音響学会・建築音響研究会

- ・11/22 石川四高記念文化交流館, 12/20 神奈川大横浜キャンパス, 1/23 東京理科大森戸記念会館(騒音・振動研究会と共催), 3/22 キャンパスプラザ京都

(2) 日本音響学会・騒音振動研究会

- ・11/27 福島大, 12/12 福岡大, 1/23 東京理科大森戸記念会館(建築音響研究会と共催), 2/22 近畿大, 3/26 東

大生研

6. その他

・次回開催予定：2019年3月8日 17:00～19:00

以上